

氏 名	中 倉 俊 祐
学 位 の 種 類	博 士 (医 学)
学 位 記 番 号	第 5054 号
学位授与年月日	平成 19 年 3 月 31 日
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項
学 位 論 文 名	Relation between Office Intraocular Pressure and 24-hour Intraocular Pressure in Patients With Primary Open-angle Glaucoma Treated With a Combination of Topical Anti-Glaucoma Eye Drops (緑内障治療薬 3 剤投与中の開放隅角緑内障患者の外来眼圧と 24 時間眼圧日 内変動との関係)
論文審査委員	主 査 教 授 白 木 邦 彦      副 査 教 授 廣 田 良 夫 副 査 教 授 三 浦 克 之

### 論 文 内 容 の 要 旨

【目的】ラタノプロスト+ $\beta$  ブロッカー+炭酸脱水酵素阻害薬点眼中の原発開放隅角緑内障患者における外来眼圧と 24 時間眼圧日内変動との関係を明らかにする。

【対象・方法】H16 年 11 月から H18 年 2 月までに、当院にて 24 時間眼圧日内変動を測定できた、緑内障治療薬 3 剤投与中の原発開放隅角緑内障患者 42 例 71 眼（平均年齢  $62.7 \pm 14.6$  歳、男性 27 例 43 眼、女性 15 例 28 眼）。入院にて Goldmann 圧平式眼圧計で、午後 12 時より 3 時間ごとに午前 9 時まで 24 時間計 8 回測定した。

【結果】日内変動における最高眼圧は  $19.76 \pm 5.65$  mmHg（平均値  $\pm$  標準偏差）、最低眼圧は  $13.06 \pm 4.75$  mmHg、眼圧日内変動の平均値は  $16.30 \pm 4.90$  mmHg、眼圧日内変動幅は  $6.70 \pm 2.81$  mmHg であった。外来受診時眼圧は  $16.23 \pm 4.58$  mmHg、外来眼圧変動幅は  $2.75 \pm 1.68$  mmHg であった。外来受診時眼圧と眼圧日内変動の平均値には有意差はなかった ( $p=0.93$ )。外来受診時眼圧と眼圧日内変動幅の間に有意な相関関係はなかった ( $r=0.15$ ,  $p=0.25$ )。また外来眼圧変動幅と眼圧日内変動幅との間にも有意な相関関係はなかった ( $r=0.19$ ,  $p=0.17$ )。診察時間帯（9 時～18 時）に最高眼圧であったのは 22 眼（33.8%）であった。

【結論】外来眼圧と眼圧日内変動の平均値はほぼ一致しているが、外来眼圧から眼圧日内変動幅ならびに日内変動の最高眼圧を予測することは難しい。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

原発開放隅角緑内障では、眼圧が高いほどまた眼圧の日内変動幅が大きいほど、緑内障性視野障害が進行するため、病期の進行を抑えるために点眼剤による眼圧下降が施される。現在、ラタノプロスト、 $\beta$  ブロッカー、炭酸脱水酵素阻害薬の 3 種類の点眼剤が投与されているが、これら 3 剤併用下での 24 時間の眼圧日内変動と外来受診時での測定眼圧との関係は明らかにされていない。

そこで、平成 16 年 11 月から平成 18 年 2 月までに、3 剤投与中の原発開放隅角緑内障患者 42 例 71 眼（平均年齢  $62.7 \pm 14.6$  歳、男性 27 例 43 眼、女性 15 例 28 眼）を対象に、入院下に Goldmann 圧平式眼圧計で午後 12 時より翌日午前 9 時まで、3 時間ごとに計 8 回測定した。外来受診時眼圧は、直前 6 ヶ月以内に受診した 3 回の眼圧を検討対象とした。

その結果、日内変動における最高眼圧は  $19.76 \pm 5.65$  mmHg（平均値  $\pm$  標準偏差）、最低眼圧は  $13.06 \pm 4.75$  mmHg、眼圧日内変動の平均値は  $16.30 \pm 4.90$  mmHg、眼圧日内変動幅は  $6.70 \pm 2.81$  mmHg であった。外来受診時での平均

眼圧は $16.23 \pm 4.58 \text{ mmHg}$ 、外来眼圧変動幅は $2.75 \pm 1.68 \text{ mmHg}$ であった。外来受診時平均眼圧と眼圧日内変動の平均眼圧値には有意差はなく ( $p=0.93$ )、外来受診時平均眼圧と眼圧日内変動幅の間には有意な相関関係はなかった ( $r=0.15$ ,  $p=0.25$ )。また外来眼圧変動幅と眼圧日内変動幅の間にも有意な相関関係はなかった ( $r=0.19$ ,  $p=0.17$ )。なお9時から18時までの診察時間帯に最高眼圧がみられたのは22眼 (33.8%) であった。

この研究から、緑内障点眼薬3剤併用下において、外来受診時眼圧と眼圧日内変動の平均値はほぼ一致しているが、外来受診時での眼圧をもとに眼圧日内変動幅および日内変動の最高眼圧を予測することは難しいことが明らかとなった。

以上より、本研究成果は原発開放隅角緑内障治療と病態解明に寄与するものであり、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定された。